

今年も母校での講演を実現してきました！

「技術士を知ろう！ in 苫小牧高専」

1. はじめに

「技術者のミライ研究委員会」(ミライ研)にて運営等を担当している「技術士を知ろう！」ですが、2022年度の活動第2弾は、2017～講演を行っている苫小牧工業高等専門学校(苫高専)にて実施しました。今回も青年技術士交流委員会(青技交)の連携・協力を得て、実施しています。

苫高専での講演ですが、当初6/8の開催を予定していたのですが、開催前日にコロナ禍の影響により学生寮が閉鎖され延期となっていました。その後、夏期休業等も挟み、学校が再開されたタイミングで“対面”での出前授業を実施しました。

2. 実施概要

開催日時：2022.9.8(木)13:00～14:30

講義内容：技術士資格の説明

技術士の仕事内容と役割(講演2編)

土木全般の仕事紹介

対象者：創造工学科 都市・環境系

都市・環境コース 4年生 計32名

参加幹事：小澤、千葉(記)(ミライ研2名)

津田、巻口、高橋(青技交3名)

毎度のことですが、苫高専での講演は、今回も創造工学科の都市・環境系の渡辺先生(技術士)の力強いバックアップがあって実現することが出来ました。この場を借りてお礼申し上げます。

苫高専は筆者の母校でもあります。私は今年48歳になるのですが、学生達との年齢差を考えると完全に親子という関係性になりつつあります。

学校に足を踏み入れると、学生時代の記憶が蘇るのですが、学生達にあの頃の自分を投影しながら、思いを伝えているのかも知れません。

3. 技術士について

小澤代表より、技術士資格の説明として、技術士の役割、資格取得方法、持つことのメリット等を説明したほか、社会人になってから仕事をする上での資格取得の重要性等について説明を行いました。

この日の講演ですが、夏期休業明け初日でもあり、学生達の集中力が続くのか心配していたのですが、小澤代表の落ち着いた語り口に、学生達が食い入るように聞いていたのが印象的でした。



写真-1 学生達の視線を集める小澤代表

4. 技術士の仕事内容と役割

(1) 電力士木の技術士の仕事(津田技術士)

具体的な仕事内容の紹介として、まずは(株)ドーコンに勤務する津田技術士から、電力士木の仕事紹介と題してプレゼン発表を行いました。

高専では“電力士木”と言う授業が無く、学生達にはあまり馴染みのない言葉ではあったのですが、「電気事業に係る土木技術全般であり、土質、水理、構造等の全てに係わってくる」との説明に、多くの学生達が自分事として捉えてくれたようです。

また、自らの転職経験を踏まえ、技術士を取得することの優位性についても語ってくれました。



写真-2 初の講演となった津田技術士(青技交 幹事)

(2)河川分野の技術士の仕事(巻口技術士)

続いて、苫高専OBで、(株)福田水文センターに勤務する巻口技術士から、河川分野のコンサルタントの仕事と題してプレゼン発表を行いました。

河川分野のコンサルタントとして、クライアントが困っている問題に対し、自身を川のお医者さんに例えて、どのような処方箋(解決策)を提案してきたかを、具体例を交えて説明してくれていました。

また、技術士を取得することで、仕事の幅が広がり、信頼され、責任ある仕事を任せてもらえる＝やりがいアップする。社内的な待遇が良くなる(昇格、資格手当)＝お小遣いがアップする。等、リアルな話も交えて説明してくれました。



写真-3 後輩に思いを伝える巻口技術士(青技交 幹事)

5. 土木の仕事全般の紹介

講演最後は、(株)ドーコンに勤務する高橋技術士から土木や建築の業界全般を対象に、2人の講演で紹介しきれなかった様々な仕事を写真で紹介。

先生からリクエスト頂いたコンサルタントにも様々な仕事があることを知ることで、自分の将来を

考える機会になればと考えて用意しました。

次年度の今頃には、新たな進路を決めることになる4年生ですが、自分たちの「ミライ」を考えるきっかけにさせていただけたようです。



写真-4 トリを飾った高橋技術士(青技交 幹事長)

6. 質疑応答

筆者の進行で参加メンバーが学生からの質問に回答する質疑応答では「電力土木は幅広い知識が必要だと感じた」、「技術士を取るのにどのくらいの時間勉強したのか」、「学生時代に勉強した中で一番役にたったことは何か」といった、今後の就職活動に直結するような質問や実際の仕事内容に関する質問も多く寄せられました。

7. まとめ

学生からの感想には「技術士を取得することで様々なメリットあることに気付いた」、「まずは技術士補の勉強を頑張ろうと思った」等の技術士取得の動機となるようなキーワードが多くありました。アンケートでは、31人中19人が「技術士を今回初めて知った」「名前だけは知っていた」等だったのに対し、32人中26人が「将来技術士を取得したい」と回答してくれました。同アンケートでの今回講演の「わかりやすさ」「満足度」は5段階評価でいずれも4.7と学生に高評価であったことも一因だったのではと考えています。

また、講演後に渡辺先生から来年度のオファーも頂きました。今年はコロナによる開催延期で実現できませんでしたが、次年度は技術士補試験の願書提出期限前(5～6月)に開催する事となりました。

多くの学生が仲間になることを期待しています。